

2/15 (木) 及び2/27 (火) の行事

報道発表資料の配付日時 1月29日 (月) 11時00分

発表項目 (行事名)	育てる漁業体験塾の学習成果発表会について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>道では、「全国豊かな海づくり大会」の関連事業として、子供たちに魚を身近に感じ興味を持ってもらうことや魚食普及を目的に、「海と日本PROJECT」の支援により、『育てる漁業体験塾』を実施しています。</p> <p>当管内では利尻富士町立鷺泊小学校において、体験学習として、栽培漁業の学習、ヒラメやマツカワの飼育、ヒラメ畜養施設の見学、調理実習、ヒラメ種苗の標識放流を行ってきました。</p> <p>今般、学習成果発表会を、以下のとおり実施しますので、お知らせします。また、以下のとおりWEB交流会を実施します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>【学習成果発表会】</p> <p>1 日 時 2月27日 (火) 13:15~14:00</p> <p>2 場 所 利尻富士町立鷺泊小学校</p> <p>3 参画機関 北海道ヒラメ栽培漁業推進協議会 (事業主体) (日本財団)海と日本PROJECT 豊かな海づくり大会北海道実行委員会、鷺泊小学校、 利尻漁協、利尻富士町、振興局 (水産課、指導所)</p> <p>【WEB交流会】</p> <p>1 日 時: 2月15日 (木) 10:25~11:50</p> <p>2 場 所: 各交流校 (Zoom等のWEB会議システムを活用)</p> <p>3 交 流 校: 利尻富士町立鷺泊小学校4年生 9名 浦河町立浦河小学校4年生 11名 函館市立万年橋小学校5年生 16名</p>		
参 考	<p>「全国豊かな海づくり大会」は、水産資源の保護・管理と海や湖沼・河川 の環境保全の大切さを広く国民に訴えるとともに、つくり育てる漁業の推進 を通じて、わが国漁業の振興と発展を図ることを目的として、都道府県ごと に昭和56年に第1回大会が大分県で開催されて以来、継続して各地で開催 され、北海道大会は令和5年 (2023年) 9月16日、17日に厚岸町及 び釧路市において開催された。</p>		
報道 (取材) に当たって のお願い			
他のクラブ との関係	同時配付 (場所)	同時レク	
担 当 (連絡先)	<p>宗谷総合振興局産業振興部水産課 主 幹 松川 透 (直通) 0162-33-2943 (内線2601) 水産振興係長 山口 裕道 (直通) 0162-33-2944 (内線2614)</p>		



「育てる漁業体験塾」実績報告書

振興局 : 宗谷

小学校名 : 利尻富士町立鴛泊小学校

参加者 : 4年生 9名

1 座学	
実施日	令和5年6月16日
場 所	鴛泊小学校4年生教室、鴛泊小学校正面玄関
参加者	児童、漁協職員、教育長、町役場職員、振興局・指導所職員
内 容	指導所職員を講師として、以下についてパワーポイントで説明した。 <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな海づくり大会及び育てる漁業体験塾 ・ヒラメの栽培漁業、漁獲方法、種苗生産方法、飼育方法 人工海水の作り方を説明後、正面玄関前に設置した飼育水槽内に人工海水を入れ、約2週間後の水槽飼育に向けた準備を行った。
結果 (児童の反応など)	児童は真剣に講師の話を聞いていたほか、メモ取りや質問する等、座学及び人工海水作りに積極的に取り組んだ。
課題や反省点など	特になし
写真	
成果物	特になし

2 水槽飼育	
実施日	<ul style="list-style-type: none"> ・マツカワ飼育 令和5年6月27日～令和5年7月19日（23日間） ・ヒラメ飼育 令和5年8月22日～令和5年10月18日（58日間）
場 所	駕泊小学校正面玄関
参加者	児童、町役場職員、振興局・指導所職員
内 容	児童は餌やり、水替え、水槽掃除を行ったほか、観察記録を作成した。なお、当初はヒラメのみを飼育予定であったが、採卵時期の遅れに伴い、飼育開始時期が大幅に遅れる見込みであったため、先行してマツカワを飼育した。
結果 (児童の反応など)	<p>児童は飼育体験を待ち望んでおり、稚魚は搬入されると興味深く魚の様子を観察していた。体は砂に隠れ、目だけを出してキョロキョロしている様子や、ひらひら泳ぐ様子を見てかわいい等の声があがった。児童が大切に飼育したことから、病気もなく元気に成長した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マツカワ：飼育開始時4～5cm→23日間の飼育後7～8cm ・ヒラメ：飼育開始時4～5cm→58日間の飼育後12cm 超えもいた <p>児童は熱心に飼育し、2種毎の行動の違いを観察した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マツカワ：餌をあげなくても人が近づくと水面まで浮上する ・ヒラメ：基本砂の中にいるが、餌をあげると水面まで浮上する
課題や反省点など	特になし
写真	   
成果物	観察記録

3 施設見学	
実施日	令和5年8月29日
場 所	利尻漁業協同組合ひらめ畜養施設
参加者	児童、漁協職員、町役場職員、指導所職員
内 容	ヒラメ活魚出荷前に、成魚を一時的に蓄養する施設を見学した。
結果 (児童の反応など)	児童はヒラメ成魚の大きさに驚いていた。照明の ON/OFF で魚が驚かないよう夜でも点灯すること、輸送中の水質悪化を防ぐために魚を蓄養施設に収容後、徐々に飼育水温を下げるといった、現場での工夫を学習することができた。
課題や反省点など	特になし
写真	     
成果物	特になし

4 調理体験	
実施日	令和5年9月5日
場 所	利尻富士町保健福祉センター
参加者	児童、食生活改善協議会会員、町役場職員、振興局・指導所職員
内 容	食生活改善協議会会員を講師として、鴛泊沖合で漁獲されたヒラメ2尾の刺身（天然、養殖）とヒラメ1尾の昆布締めめの薄切り（天然）、冷凍ヒラメフライの調理及び試食を行った。
結果 （児童の反応など）	児童は講師の見事な捌き方を間近で見たり、魚に触れたり、匂ったり、興味津々であった。中には5枚卸しに挑戦する児童もあり、困難ではあったものの、サクができた時には歓声があがった。 刺身はもちもちで甘みがあるほか、昆布締めはコンブの旨味も相まり絶品との声があった。また、フライはサクサクな衣に、身はふっくら、ジューシーであり、おかわりする児童もいた。地元のヒラメの美味しさと料理の楽しさを感じた調理体験となった。
課題や反省点など	特になし
写真	
成果物	アンケート

5 標識放流	
実施日	令和5年10月18日
場 所	・標識作業 利尻漁業協同組合ひらめ畜養施設 ・放流 鴛泊港付近の海水浴場
参加者	児童、地元漁業者、漁協職員、町役場職員、振興局・指導所職員
内 容	畜養施設内で地元漁業者の協力のもと、ヒラメ約4千尾に標識をつけた後、鴛泊港付近の海水浴場から放流した。(標識魚には児童が飼育したヒラメも含)
結果 (児童の反応など)	児童は跳ねる魚に苦戦していたが、真剣に標識をつけた。放流魚には飼育魚も含まれており、寂しいながらも、元気に海で育つことを願い放流した。
課題や反省点など	特になし
写真	     
成果物	特になし

6 WEB交流会及び学習成果発表会	
実施日	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB交流会 令和6年2月15日 ・学習成果発表会 令和6年2月27日
場 所	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB交流会 各交流校（Zoom等のWEB会議システムを活用） ・学習成果発表会 利尻富士町立鴛泊小学校
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB交流会 <ul style="list-style-type: none"> 利尻富士町立鴛泊小学校4年生 9名 浦河町立浦河小学校4年生 11名 函館市立万年橋小学校5年生 16名 漁協職員、町役場職員、豊かな海づくり大会北海道実行委員会、振興局・指導所職員 ・学習成果発表会 令和6年2月27日 <ul style="list-style-type: none"> 児童、漁協職員、町役場職員、振興局・指導所職員
内 容	学習成果の発信及び、他管内小学校との学習内容の共有や交流を目的に、WEB交流会及び学習成果発表会を実施予定
結果 (児童の反応など)	
課題や反省点など	
写真	
成果物	

「ヒラメの放流（大会記念リレー放流）」

当管内では、平成8年より漁業資源を増やす取組として種苗放流を行っており、令和5年はヒラメ稚魚計17万4千尾を放流した。その中で、令和5年9月16日～17日に厚岸町及び釧路市で開催の「第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会」へ向けた関連事業として、全道的な機運醸成を図るため、大会記念リレー放流を昨年同様に実施した。

実施日	令和5年9月13日
場 所	稚内市抜海漁港
参加者	宗谷管内栽培漁業推進協議会（管内漁協、市町村で構成）、漁業者 宗谷総合振興局産業振興部水産課6名、宗谷地区水産技術普及指導所3名 宗谷総合振興局水産課以外10所属18名
内 容	ヒラメ約4千尾を放流した。 ・漁業者らは稚魚を漁船に積込んだ後に、沖合放流 ・振興局職員らは放流事業について宗谷地区水産技術普及指導所柴崎普及職員から説明を受けた後に、岸壁放流
写真	